



米子市長定例記者会見資料	
令和6年7月16日	
担当課 (担当者)	職員課 辻、矢倉
電話 (0859) 21-8758	

報道機関各位

「働く女性のヘルスケア」推進の取組について

経済産業省の調査では、女性従業員の約5割が女性特有の健康課題により「勤務先で困った経験がある」と回答しています。本市で実施した座談会の中でも、生理、PMS、更年期障害など様々な女性特有の健康課題を訴える声が多くありました。

女性の活躍を推進する上で、女性特有の心身の症状に対する周囲の理解促進と支援強化が重要であることから、米子市役所においては「女性が元気に輝く米子市役所」を目指して令和5年度から以下に示した事業を推進してきました。

1 状況把握のための座談会の実施

20代女性のための座談会、男性のための座談会など計8回の座談会を実施するなどして課題を把握（令和5年度）

2 女性の健康に対する理解やヘルスリテラシーの向上

- ・産婦人科の医師を講師にした管理職向け講演会の開催
- ・月1回の通信発行（令和5年度～現在）

3 相談窓口の設置

令和5年度から開始（健康対策課保健師による対応）。令和6年度は職員課内に新たに保健師を配置

4 働きやすい環境づくり

- ・職員にアンケートを取って、休暇の名称を変更（令和6年4月）
「生理休暇」→「ヘルスケア休暇」
「不妊治療のための休暇」→「ライフサポート休暇」
- ・新たに「みんなのヘルスケア応援BOOK」を作成（令和6年7月）

【今後の予定】

昨年度から2回実施した市の職員対象のヘルスケア講演会に続き、今年10月には民間企業で女性部下を持つ上司や管理職の方等にも参加いただきながら、女性特有の健康課題への理解を深め、市域全体での女性が働きやすい職場づくりに結びつけていくための講演会を開催